

新規事業採択時評価
費用便益分析の対象区間

令和4年3月7日

国土交通省 北海道開発局

広域ネットワークでの費用便益分析 <日高自動車道 静内三石道路(静内～東静内)>



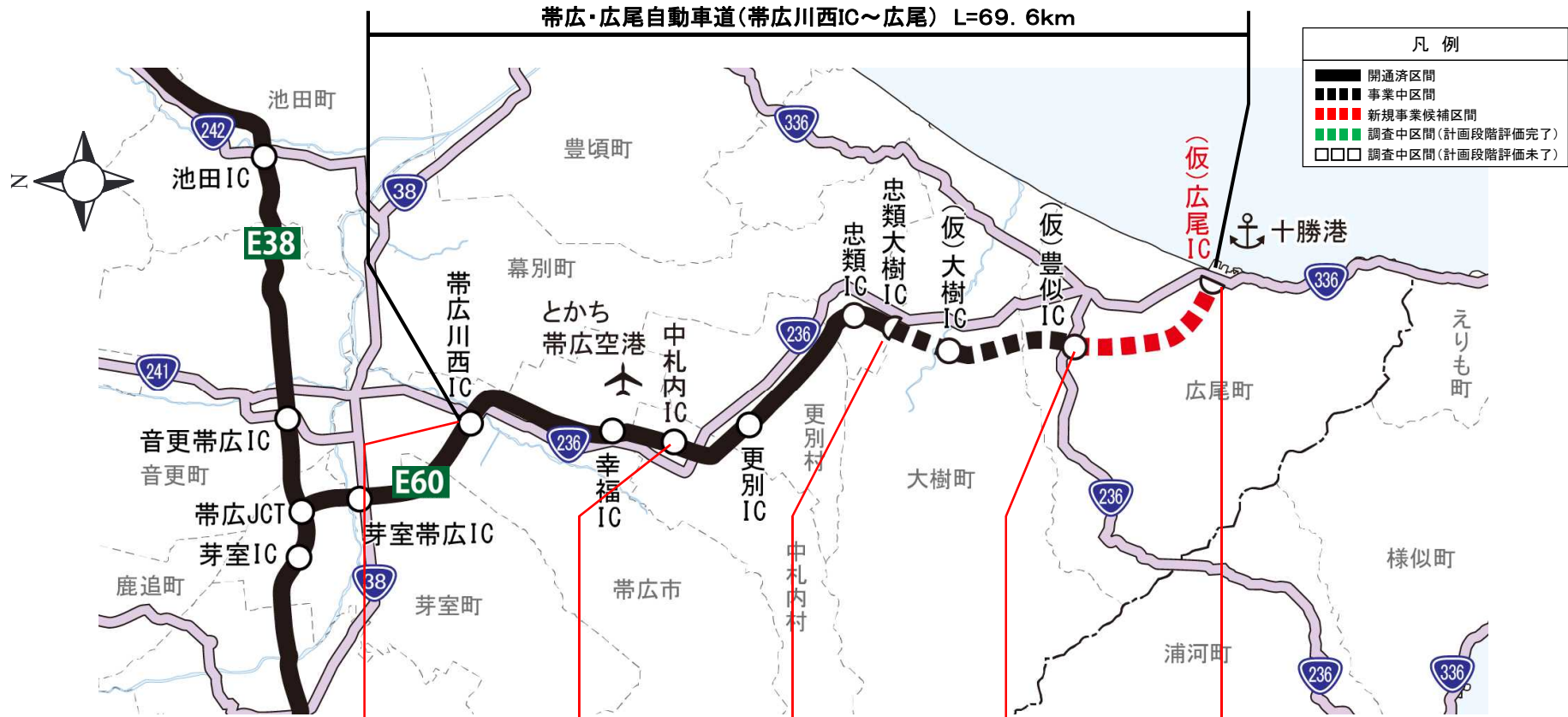
	開通済区間 L=20.0km 厚真門別道路	開通済区間 L=20.0km 門別厚賀道路	事業中区間 L=16.2km 厚賀静内道路	新規事業候補区間 L=8.0km 静内三石道路 (静内～東静内)	調査中区間 L=12.3km 静内三石道路 (東静内～三石)	調査中区間 三石～浦河	B / C	EIRR
新規事業化候補箇所			※1	○			1.01	4.1%
一体評価区間※2	○	○	○	○	○		1.3	5.3%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1：新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む

※2：基準年をR3として計算

広域ネットワークでの費用便益分析 <帯広・広尾自動車道 大樹広尾道路(豊似～広尾)>



	開通済区間 L=19.0km 川西中札内道路	開通済区間 L=23.2km 中札内大樹道路	事業中区間 L=15.1km 大樹広尾道路 (忠類大樹～豊似)	新規事業候補区間 L=12.3km 大樹広尾道路 (豊似～広尾)	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所			※1	○	0.7	2.0%
一体評価区間※2	○	○	○	○	1.2	5.2%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1：新規事業候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む

※2：基準年をR3として計算